



ひょうご農地・水ニュース



監修：兵庫県農地整備課 兵庫県農業改良課

発行：兵庫県各地域農地・水・環境保全推進協議会 水土里ネット兵庫 078-341-0500

農業の基本となる農地や水路、さらには美しい景観、豊かな生きもの、きれいな水を守り育む地域ぐるみの活動が農村集落で熱心に行われています。

また、今年度は農業用施設長寿命化のための向上活動支援がスタートし、本県では積極的な取組が展開されています。

一方で、今年度もこの活動の大切さを広く県民にPRするため、兵庫県、サンテレビ、メダカのコタロー劇団、関係団体が協力して、年間を通じてイベントを開催してきました。

ひょうご農地・水ニュースは、今年度の各地域の取組をご紹介します。

今年度の取組状況

施設長寿命化への取組



水土里フォーラムの開催



農村環境への取組



▼▼▼ CONTENTS ▼▼▼

P.2～3 第4回 ひょうご水土里のふるさとフォーラム 報告

P.4 平成23年度 開催されたイベント

P.5 メダカのコタローワンダーランド里海(洲本市) / 生きもの調査(丹波市)

P.6 西谷自然ふれあいあそび(宝塚市) / 老原老林の郷 農業体験(太子町)

P.7 播水池カイボリ(加古川市) / 東はりまメダカ復活大作戦(明石市)

P.8 北播磨集落優良地区事例発表(北播磨協議会)/環境学習(豊岡市)

P.9～10 兵庫県における農地・水・環境保全向上対策の取り組み状況等

P.11 県下の取り組みの事例について(活動組織の紹介)

　　切畠環境保全の会(宝塚市) / 川北地区農地・水・環境保全向上活動の会(篠山市)

P.12 農地・水・環境保全向上対策(共同活動)・次期対策について



第4回ひょうご水土里のふるさとフォーラム開催！！！

テーマ「ひょうご むらの元気～地域の絆～」

平成23年12月3日(土) 場所:兵庫県公館

今回のフォーラムは、平成19年度に開始された「農地・水・環境保全向上対策」のこれまでの取り組みを振り返り、そして今後の活動の展開を考えるために開催しました。

テーマ「ひょうご むらの元気～地域の絆～」は、これまでの活動が地域の参画と協働を促し、地域の絆が地域活性化に繋がっていることをイメージしています。



オープニングイベント

オープニングイベントでは、メダカのコタロー劇団による「コタローのあゆみ～ひょうごの農村環境と共に～」が公演されました。

平成20年5月に設立され、兵庫県の農地・水・環境の大切さをアニメ紙芝居というこれまでにない手法で広く県民に広くうつたえてきたメダカのコタロー劇団。これまで3年半積重ねた公演に対して劇団員が得てきた実感や今後の活動への意気込みを熱く語りました。



セレモニーでは、井戸兵庫県知事による主催者挨拶が行われ、その後、農地・水・環境保全向上対策の優良な取り組みの表彰「みどり豊かなふるさと大賞」の授与が、知事賞2地区と委員長(豊かなふるさとづくり推進委員会)賞3地区の各代表者に対して行われました。

1 知事挨拶



- 2 知事賞受賞(古川町農地水環境保全隊)
- 3 知事賞受賞(海上地区活動組織)
- 4 委員長賞受賞(切畠環境保全の会)
- 5 委員長賞受賞(大杉環境保全推進協議会)
- 6 委員長賞受賞(菅野農地水環境保全活動組織)
- 7 受賞者記念撮影



齋藤前農林水産省局次長による基調講演が行われました。この講演では「農地・水・環境保全向上対策」の事業趣旨やその効果を「全国の視点」から分かりやすく解説が行われました。また、締めくくりとして全国に比べても取組の割合が大きい兵庫県へ大きなエールがおくられました。

8 齋藤前農林水産省局次長基調講演



事例発表会では、県内の活動組織代表の3人の方々が「地域の絆」にまつわる様々な地域の特色ある活動を映像を交えながら発表し、観客も熱心に聞き入ってました。



【事例発表】

9 古川町農地水環境保全隊

10 神出東エコ農業活動組織

11 海上地区活動組織

フォーラムの締めくくりとして、ナビゲーターの谷五郎氏とコーディネーターの三野徹委員長、合田博子委員、事例発表者の3名を加えて、「地域の絆の大切さ」や「地域の元気づくり」をキーワードに実際の活動を踏まえながら活発なトークショーが繰り広げられました。それぞれの個性ある発言は会場をおおいに盛り上げました。

今回は農村住民・都市住民双方の参加のもと行われ、フォーラムのテーマである「農村の元気～地域の絆～」の必要性を認識し、意義深いフォーラムとなりました。



12 トークショー（ラジオ関西 谷五郎さん、中野アナウンサー）

13 トークショー

このフォーラムの模様は、以下のHPから視聴可能です。是非ご覧下さい。

【ひょうごチャンネル】

http://sites.google.com/site/hyogochannel/syoku_nourinsuisan/20111203hyogomidorinofurusatoforum

【ユーチューブ】

http://www.youtube.com/watch?v=tdf4JwP8FgE&feature=player_embedded

平成23年度の農地・水・環境保全向上対策 農村環境啓発活動 兵庫の農村環境を守る～地域の活動を情報発信！！！～

農地・水・環境保全向上対策では、兵庫の農村環境を守る啓発活動として、平成20年度から兵庫県とサンテレビ、メダカのコタロー劇団、並びに各関係団体が協力し、サンテレビ環境啓発番組の作成や農村環境啓発イベントの開催を行ってきました。

今年度はこれらの取組に併せ、新たに各地域での特色ある農村環境への取組をサンテレビ情報番組（キラリ☆けいざい）で紹介する試みが始まりました。



【環境啓発番組の作成】



【農村環境イベントの開催】

★ ☆ ☆ キラリけいざい ☆ ☆ ☆

サンテレビ情報番組「キラリけいざい」で今年度 各地域協議会ごとに以下の活動組織の取組を放送しました。
地域の熱心な取組が県下に幅広く紹介されています。【放送時間 毎週金曜日 PM22:30～22:55】

放送日	活動組織名	放送内容
7月15日(金)	のこの 野上野地区あけぼの会(丹波市)	水路の生き物調査の状況やホタルの観察会など地域の環境保全活動を紹介
8月19日(金)	ちゅうぶ 中部環境保全活動の会(宝塚市)	外来種の駆除を「つり大会」として、みんなが楽しめるイベントとして実施。また、複数の活動組織が連携したイベント状況を紹介
9月2日(金)	ひょうぶ 屏風活動組織(神戸市)	ため池の草刈り等の管理作業を通して、地域の豊かな環境や交流事業の様子を紹介
9月2日(金)	なかむらく 中村区環境保全委員会(神河町)	田んぼの生き物調査やホタルの餌となるカワニナの放流、交流事業など地域の様々な活動を紹介
9月2日(金)	おいばらはやしのと 老原老林の郷保全会(太子町)	遊休農地を活用した地域の小学生と住民の農業体験の様子を紹介
9月30日(金)	のがみ 野上みどりの会(加西市)	ため池の管理作業を通して、地域の農地保全の様々な取組を紹介
10月14日(金)	てんまおおいけ 天満大池協議会(稻美町)	ため池の希少種「アザサ」の保護に向けた取組やイベントの様子を紹介
11月11日(金)	かみはだ 上幡多農地・水・環境保全向上推進委員会(南あわじ市)	「ふれあい川」で実施した生き物調査や農業の大切さを知って貰う環境学習の様子を紹介
11月23日(金)	たかやなぎしも 高柳下農地水環境保全隊(養父市八鹿町)	都市農村交流(そばうち)や大学生による「むらづくり提案会」の様子を紹介

情報番組（キラリ☆けいざい）の
地域の取り組みを取材

上幡多(南あわじ市)の環境学習



高柳下(養父市)の都市農村交流

平成23年度県下各地で開催した各種様々なイベントをご紹介

メダカのコタローワンダーランド里海(洲本市) 平成23年7月3日(日)

洲本市では、「メダカのコタロー劇団～みんなの里海を親子で考えてみませんか？～」と題したイベントが開催されました。里海保全・啓発活動・環境教育の一環として森・川・海における物質循環と人との関わりをアニメ紙芝居を通じ、幼稚園、小学生を中心に、里海の大切さを、楽しく、わかりやすく、親子でいっしょに考え学びました。



1 アニメ紙芝居の上演



2



3

生き物調査(丹波市) 平成23年7月15日(日)

7月15日の『キラリけいざい』取材イベントによる生態系保全活動として地元の春日部小学校と連携をして水の中の(竹田川)生き物調査を行いました。今までに、大陸アナゴ・アカシチ・ハ目ウナギといった見られなくなってしまった珍しい魚を見つけてくれました。



1 生きもの調査



2



3 記念撮影

西谷自然ふれあいあそび(宝塚市)
平成23年7月24日(日)

西谷自然ふれあいあそびが開催されました。第1部としてため池の生態系保全の一環として、子どもたちの釣りによる外来魚駆除を行いました。また釣り竿は地域の竹から作った手作り感あふれる活動組織お手製の「浦島太郎の釣り竿」を使用し、大人も子どもも楽しむイベントとなりました。また第2部には、メダカのコタロー劇団によるアニメ紙芝居が上演されました。



1 釣り大会



2



3

老原老林の郷農業体験(太子町)
平成23年8月20日(日)

老原老林の郷保全会では、農業者・自治会・長寿会・婦人会・子供会・ふれあい農園・土地改良区が一体となり、小学生や中学生と一緒に、米・コスモス・蕎麦の植え付けや収穫の農業体験を行っています。今回のイベントでは、そばの種まき体験を行い、初めは慣れない作業に戸惑う子供たちでしたが次第に慣れ楽しく行う事ができました。



1 そばの種まき



2



3

2 老原そばまつり(10月開催)

3 子供たちによる農業体験

播水池カイボリ(加古川市) 平成23年10月25日(日)

生き物調査・外来種駆除活動として播水池でカイボリが行われました。子供から大人まで多くの参加者が泥んこになりながら、たくさんの生き物を捕りました。また、ため池クリーンキャンペーンも同時に行われました。



1 ため池についての環境学習

2 カイボリ

3 ため池クリーンキャンペーン



東はりまメダカ復活大作戦(明石市) 平成23年11月3日(木・祝)

11月3日に明石市立産業交流センターで行われた「環境＆消費者フェアーinあかし」と連携し、ため池をテーマとしたメダカのコタロー劇団による環境アニメ紙芝居が上演されました。また水辺の生き物、ため池のパネル展示等を行い、ため池のPRを行いました。



1 環境アニメ紙芝居の上演

2 水辺の生き物の展示



3 ため池パネルを展示

農地・水保全管理活動 優良事例発表会
平成23年11月13日(日) (北播磨協議会)

11月13日(日)やしろ国際学習塾(加東市上三草)にて優良事例発表会が開催されました。

200名を越えるたくさの方々が来場され、各市町より推薦された6地区より日頃の熱心な活動成果を発表していただきました。また厳正に審査された結果、右記2地区が表彰されました。



1 オープニングセレモニー(トーンチャイム演奏)

2 授賞式

県民局長賞 西脇市 大木町農地水環境保全委員会
会長賞 小野市 新部農地水環境保全隊

その他発表地区

三木市	平井地区環境協議会
加西市	中野町農地・水・環境保全隊
加東市	穂積地域活動協議会
多可町	下野間農地保全会

環境学習(豊岡市)
平成23年11月22日(火)

豊岡市日高小学校にて、環境学習が行われました。園児から小学生を対象にメダカのコタロー劇団によるアニメ紙芝居を上演し環境に優しい農業の必要性をPRしました。

ハグハグジャンケン、ハグハグゲームなどにより、子供達も楽しく学ぶ事が出来ました。



1 アニメ紙芝居の上演

2 ハグハグゲーム



3 子供達からのメッセージと花束

兵庫県における農地・水・環境保全向上対策の取組状況

1 平成23年度の取組状況

●共同活動支援

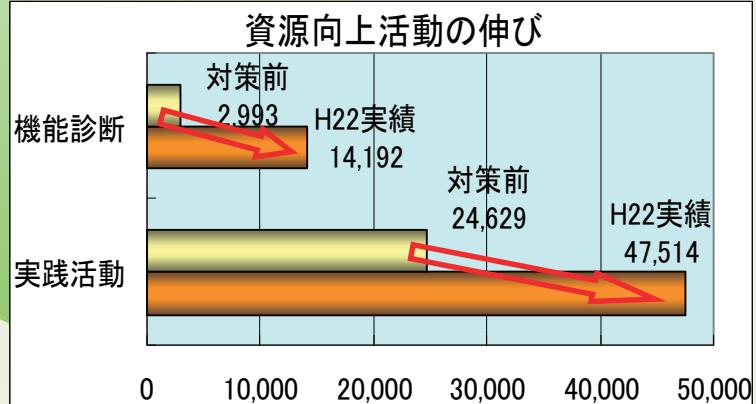


共同活動

県下 2,135 集落、46,707ha の面積で取組んでおり、目標面積の 99%を達成しています。また、農振農用地での取組率は 69%と対策導入から5年連続全国トップを維持しています。

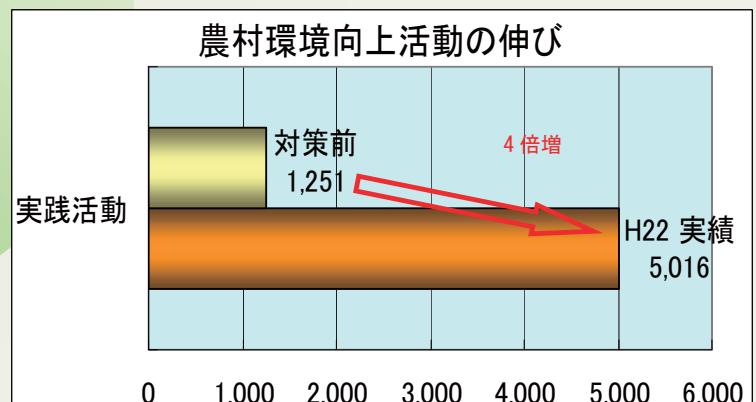
農地・水向上活動

施設の長寿命化のための本活動が大幅に増加し、農業用施設のきめ細やかな機能診断(施設の点検等)、実践活動(水路の補修、鳥獣害防止柵の補修等)が実施されています(表中はH22 実績)。



農村環境向上活動

地域の生態系や景観保全のための活動が対策前の 4.0 倍と大幅に増加し、5つのテーマのうち景観形成活動(水路法面への植栽等)が多く実施されました(表中はH22 実績)。



●向上活動支援

今年度より、老朽化が進む農業用施設の長寿命化を図る「向上活動支援」が新たに拡充されました。この活動は共同活動に加え農業用施設等の補修・更新等を行う集落の取組に対しての支援です。今年度は県下の約1,160集落で実施されました。

今後も施設の長寿命化にかかる活動の発展が期待されます。

活動事例

農業用施設を守る向上活動支援の取組(豊岡市 気比の自然と環境を守る会)

本地域の水路は、昭和20年頃に造成され、整備後約70年が経過ています、老朽化に伴う水路の破損が年々増加し、水路の維持管理に支障がありました。今回、向上活動の取組で水路更新を行いました。通水機能の維持や泥上げなどの維持管理労力が軽減されています。

水路の更新



老朽化状況



コンクリート二次製品水路に更新

【地区概要】

- ・取組面積 46ha
(田30ha、畑16ha)
- ・補修・更新等を行う施設
水路 0.3km
- ・構成員数 135人、6団体

【実施計画】

- ・水路の更新
L=257m
うちH23年度
L=33m

●先進的営農活動支援

県下では、130集落、1,231haで実施されています。先進的営農活動実施ほ場では、温湯(60~63°C)種子消毒による殺菌、生物農薬の利用等、より高度な農薬低減技術の導入が進み、環境に優しい農業を行うエコファーマーの認定者が860人(H19.3)から2,047人(H23.3)に増加し、環境創造型農業の担い手が増加しています。



あさみず
浅水代かき後の田植え
丹波市東芦田



おんとう
温湯種子消毒
豊岡市出石町中川



県下の取り組みの事例について（活動組織の紹介）



◆事例1 切畠環境保全の会（宝塚市） 「集落の未来を切り開こう！」



当地区では、今後農地を守り、農業を続けていくためにはどうすればいいのかを主軸に、地域づくりのワークショップを毎月開催しています。地域の将来構想についてアドバイザーを招き「切畠の未来を切り開く会」として話し合いを重ねています。

その他、自然観察会、環境浄化剤えひめAIの普及、堆肥づくり、レンゲやヒガンバナの植栽、農法の勉強会など活動は多岐に渡り、集落の誰もが活動に参加する機会を得る体制が強化されています。

皆で集まり意見を交わすごとに、切畠の魅力や課題を見つめ直すことができており、これからもよりよい地域の将来像に向けて集落が一丸となって活動を続けています。



1 自然観察会

2 ヒガンバナの植栽

3 えひめAIつくり

4 ワークショップ

◆事例2 川北地区農地・水・環境保全向上活動の会（篠山市） 「助け合いながら、明るく楽しく生活が出来る集落を作り！」



当地区は、農地のほぼ全域が整備され、川北黒大豆の産地でもあることから転作のほとんどは黒大豆を栽培しています。農業者全戸が川北生産組合に入り、共同機械等を利用し、遊休農地等が発生しないよう集落全体で農地の保全に取り組んでいます。

また、共同施設の草刈や用排水路の目地詰め、泥上げ等の補修に加え、小学生による生物の生息状況調査や老人会による公共施設等の植栽の手入れ・女性会による葉ボタンの植え替え・若者の会による夏祭り等を各種団体と連携を図りながら、幅広い展開を行っています。

特産物である黒豆の集団作付けや昔ながらの農法である稻木干しの継承、新春に向けた葉ボタンの定植など景観形成にも取り組んでいます。



1 団地化による黒豆の作付け

2 水路の泥上げ作業

3 女性会による葉ボタンの定植

4 子供会による生物調査

農地・水・環境保全向上対策(共同活動) 次期対策について

平成24年度の国概算決定では、今年度までの対策であった共同活動支援が平成24年以降も継続されることとなっています。

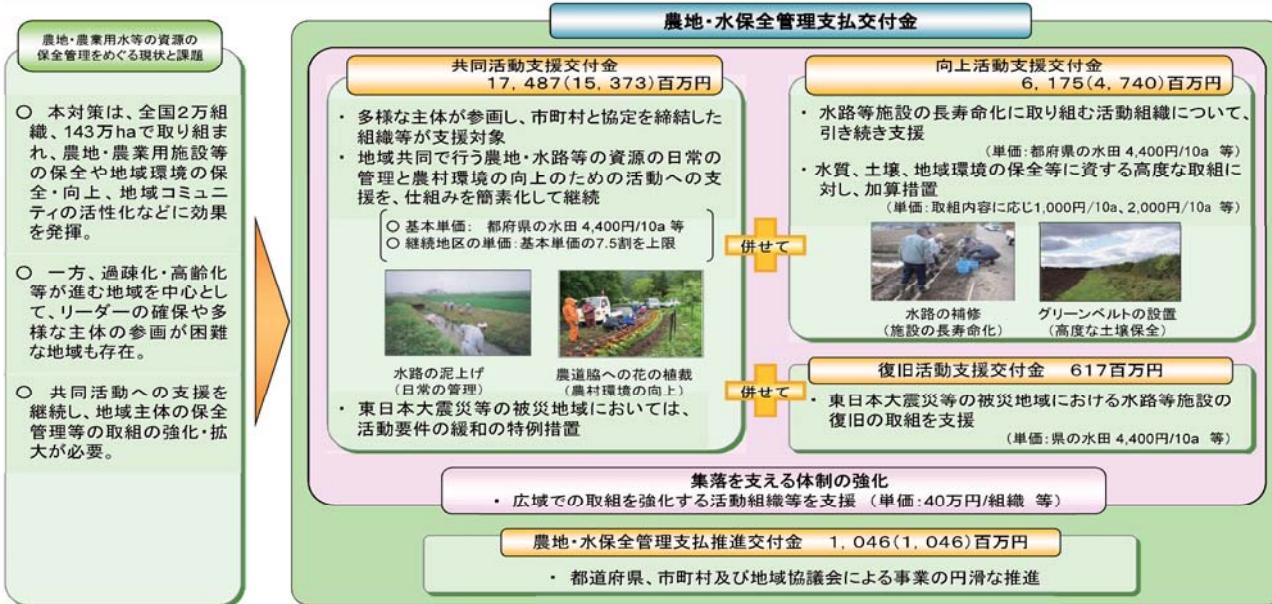
制度改定の主なポイント

- ① 共同活動支援の継続(平成24年度～平成28年度)。
- ② 共同活動支援にかかる継続地区の支援単価は、現行の7.5割。
- ③ 共同活動支援にかかる活動項目の統合や整理により、仕組みを簡素化。
- ④ 高度な農地・水の保全活動について追加的に支援。
- ⑤ 広域な取組を強化する活動組織を追加的に支援。

【国概算決定の概要】※国 HP から抜粋

1 農地・水保全管理支払交付金(平成24年度概算決定)の概要 【24,695(21,159)百万円】

- 共同活動支援については、過疎化・高齢化等の進行を踏まえ、集落を支える体制の強化や仕組みの簡素化を図り、平成24年度～平成28年度までの対策として継続。
- 水路等の長寿命化の取組や高度な農地・水の保全活動に対し、追加的に支援。



農地・水・環境保全向上対策の関連ホームページ
制度の解説や全国の活動組織のことなど、いろんな情報が掲載されています。
ぜひご覧ください！

農林水産省【代表電話 03-3502-8111】 http://www.maff.go.jp/nouti_mizu/index.html

全国水土里ネット(全国土地改良事業団体連合会)【電話 03-3234-5480】 ... <http://www.inakajin.or.jp/midorihozen/>